

令和3(2021)年

4月1日

第239号 毎月発行

編集 公民館だより編集室
発行 西東京市公民館

毎月第4月曜日は休館日です

西東京市

公民館だより

電話での講座申し込みは、平日9時～17時をお願いします。

来館時・講座参加時のお願い

- ・自宅での事前検温、マスクの着用、入館時の手指消毒にご協力をお願いします。
- ・当日、平熱を超える発熱や体調不良がある場合は、来館をご遠慮ください。

柳沢公民館 柳沢1-15-1 ☎042-464-8211 kouminkan@city.nishitokyo.lg.jp
田無公民館 休館中、問い合わせは柳沢公民館へ tana-kou@city.nishitokyo.lg.jp
芝久保公民館 芝久保町5-4-48 ☎042-461-9825 shiba-kou@city.nishitokyo.lg.jp

谷戸公民館 谷戸町1-17-2 ☎042-421-3855 yato-kou@city.nishitokyo.lg.jp
ひばりが丘公民館 ひばりが丘2-3-4 ☎042-424-3011 hibari-kou@city.nishitokyo.lg.jp
保谷駅前公民館 東町3-14-30 ☎042-421-1125 ekimae-kou@city.nishitokyo.lg.jp

この講座は、①映像を集中して観る、②覚えていること、認めたことについて話し合う、③もう一度映像を観る(鑑賞中発言可)、④再度話し合う、という次第で各回を進めました。20～70代の男女13人が参加し、うち4人は昨年度も実施した同講座への参加歴がありました。

鑑賞したのはそれぞれ20分程度の短編。講師(渡邊一孝)が選定した国内未発表作品で、国内外の若い監督らによる新しい作品中心でした。タイトルを明かさずに鑑賞を始めるので、参加者は事前に知識の収集や準備ができません。偏見がない状態で観て、知覚し、それを話し合っ共有します。さまざま場面における被写体・背景・状況のディテールなどを、多くの参加者が共通して覚えている場合もあれば、特定の参加者のみが特定の描写を強く覚えている場合もありました。同一の作品を観たはずなのに、それぞれに知覚・記憶していることが違うのです。

一度目と二度目それぞれの鑑賞のち、話し合いが進むにつれて徐々に講師が解説を展開し、作り手の意図や作品についての概要や詳細を明かしました。3回の講座で鑑賞した作中の舞台は中国・ミャンマー・マレーシア、市内で子育てをしています。子どもたちは日本で生まれ育っていますが、外見が違っても、日本の他の子どもたちと同じように、何にでも挑戦できる環境であってほしいと願っています。わたしたちは4人の家族で、夢に向かって一歩一歩進みます。いつか日本で難民のイメージがよくなる日まで」

アとさまで、監督の出自にかかわるセンシティブな問題や現地の社会問題を背景に含んだ作品もありました。時間が許せば、作品の題材や表現についてより深く追究できる可能性を参加者も感じ取ったようです。二度目見る際の面白さ。二度目も観たい(参加者の声)。

「短編を複数回観て話し合うのは魅力的な試み。感動(同じ感じ方)を共有するのではないところが良かった」「映画は何度観ても気がつきがあり、受け手によって感じ方がそれぞれ。当たり前前のことだけど大切なことに気付ける時間でした」。(参加者の声)

鑑賞したのはそれぞれ20分程度の短編。講師(渡邊一孝)が選定した国内未発表作品で、国内外の若い監督らによる新しい作品中心でした。タイトルを明かさずに鑑賞を始めるので、参加者は事前に知識の収集や準備ができません。偏見がない状態で観て、知覚し、それを話し合っ共有します。さまざま場面における被写体・背景・状況のディテールなどを、多くの参加者が共通して覚えている場合もあれば、特定の参加者のみが特定の描写を強く覚えている場合もありました。同一の作品を観たはずなのに、それぞれに知覚・記憶していることが違うのです。

一度目と二度目それぞれの鑑賞のち、話し合いが進むにつれて徐々に講師が解説を展開し、作り手の意図や作品についての概要や詳細を明かしました。3回の講座で鑑賞した作中の舞台は中国・ミャンマー・マレーシア、市内で子育てをしています。子どもたちは日本で生まれ育っていますが、外見が違っても、日本の他の子どもたちと同じように、何にでも挑戦できる環境であってほしいと願っています。わたしたちは4人の家族で、夢に向かって一歩一歩進みます。いつか日本で難民のイメージがよくなる日まで」

アとさまで、監督の出自にかかわるセンシティブな問題や現地の社会問題を背景に含んだ作品もありました。時間が許せば、作品の題材や表現についてより深く追究できる可能性を参加者も感じ取ったようです。二度目見る際の面白さ。二度目も観たい(参加者の声)。



カディザさんは既に難民認定を受けていた夫の呼び寄せにより、2006年12月に来日しました。カディザさんには日本に來たらかなえない夢がありました。「日本で勉強して、民族の問題解決のために貢献したい」。しかし実現には大きな困難を伴うことにすべく気づきました。「まず日本語がとても難しいこと。物価も高く、生活を維持するのがやっとの状況で、どうやって学ぶことができるのだろうか」と、不安な思いを持ちました。ですが、カディザさんはあきらめませんでした。「なぜなら、わたしには難民という地位があります。迫害と戦ってきたというステータスです。難民はみなさんと同じように、笑い、喜び、悲しみ、夢を持っている人間です。教育があれば、難民も夢をかなえることができます。受け入れた国の負担になるのではなく、むしろその国の発展に貢献できる存在になるのです」

カディザさんは、日本政府による第三国定住難民の支援施設「RHQ支援センター」で日本語と生活について学び、必死に勉強しました。そして国連難民高等弁務官事務所(UNHCR)の奨学金制度を利用し、2009年青山学院大学に入学しました。在学中に2人の子ともも授かりました。今は働きのながら、それぞれに知覚・記憶していることが違うのです。

カディザさんのお話の内容は、市ホームページで公開しています。併せてご覧ください。

最終回の今号は、東伏見エリアの彫刻をご紹介します。東伏見駅北口ロータリーの中央に建つ「ふれあい」。1984年の設置以来、40年近くこの街を見守ってきました。親子のふれあいや市民相互の交流を表すこの彫刻は、遠目には一見ハート型のようにも見えます。よく見るとそれが親子だとわかるという仕掛けを、作者が意図していたのかわかりませんが、造形全体からもやさしい印象を受けました。また、前回紹介した文理台公園の「母子像」も同年の設置です。核家族化がピークを迎え、近代家族観が崩壊していった時代に、親子をモチーフとしたこれらの彫刻には、どんな思いが込められていたのだろうかと考えが巡ります。

市では、したのヤマラをVR体験できるアプリ「VR下野谷縄文ミュージアム」など遺跡の知識を深める材料を用意しています。出土品は西原町の郷土資料室で見ることが出来ます。それらを活用し駅周辺に設置されているあと2基のモニユメントを見つければ、ぜひ下野谷遺跡を訪ねてはかががでしょうか。

約2万人ともいわれる日本に暮らす難民の人々は、どのような思いで生活しているのでしょうか。市内に暮らすカディザ・ベゴムさんからお話を聞きました。「わたしはミャンマーのロヒンギャという少数民族の出身で生まれ育ったのはバングラデシュです。千年以上の歴史を持つ

ロヒンギャは、宗教、文化そして言葉の違いで、長年ミャンマーの軍事政権によって差別や迫害を受けてきました。国連が「世界で最も迫害を受けている少数民族」と表現するロヒンギャの人々は、日本にも現在200人ほど暮らしています。

この4月からは大学院に進学します。「ロヒンギャ問題に取り組めるよう、世界の難民問題の課題や解決方法を分析します。いずれは、バングラデシュの難民キャンプにいるロヒンギャの子どもたちの将来を明るくするために貢献できるような存在になりたいです」。カディザさんの挑戦は続きます。

この4月からは大学院に進学します。「ロヒンギャ問題に取り組めるよう、世界の難民問題の課題や解決方法を分析します。いずれは、バングラデシュの難民キャンプにいるロヒンギャの子どもたちの将来を明るくするために貢献できるような存在になりたいです」。カディザさんの挑戦は続きます。

この4月からは大学院に進学します。「ロヒンギャ問題に取り組めるよう、世界の難民問題の課題や解決方法を分析します。いずれは、バングラデシュの難民キャンプにいるロヒンギャの子どもたちの将来を明るくするために貢献できるような存在になりたいです」。カディザさんの挑戦は続きます。

この4月からは大学院に進学します。「ロヒンギャ問題に取り組めるよう、世界の難民問題の課題や解決方法を分析します。いずれは、バングラデシュの難民キャンプにいるロヒンギャの子どもたちの将来を明るくするために貢献できるような存在になりたいです」。カディザさんの挑戦は続きます。



①「ふれあい」/ブロンズ、白花こう岩/山崎猛(たけし)
上から②③「縄文モニユメント」/ブロンズ/キャラクター原案・滝島俊

ちよごと彫刻さんぽ

第3回 東伏見駅周辺

サークルから 会員募集

田無英会話サークル

第1・3土曜日/18時15分~20時15分/下宿地区会館/入会金2,000円・月額2,500円

ら・ら・ら体操教室

月4回水曜日/9時20分~11時/ひばりが丘公民館/月額2,500円

カラオケのぞみ会

第2・4水曜日/13時~17時/ひばりが丘福祉会館

グループ群彩(水彩画)

月4回月曜日/10時~12時/柳沢公民館ほか/入会金1,000円・月額1,625円

朗読劇の会りふれ

第2・4土曜日/13時半~16時/ひばりが丘公民館/月額1,750円

彩友会(透明水彩画)

第1・2・3月曜日/13時半~15時半/柳沢公民館/入会金500円・月額2,000円

ひばりが丘チア&パフォーマンスチームHCP(小・中学生対象チアダンス)

月4回水または金曜日/18時半~21時/ひばりが丘公民館ほか/月額4,000円

むくげ(韓国語)の会(入門)

毎週木曜日/10時半~11時40分/芝久保公民館/月額3,500円

※金額の記載がないものは無料です。

6月1日号の原稿締め切りは、4月20日(火)です。

6月号のお題 「黒」です

締切 4月23日(金)

飲み会も演奏会も遠い「生」一年生ピカピカ跳ねるランドセル 通夜の席生きた証の日記帳 編集室では、みなさまの投稿をお待ちしています。氏名・住所・電話番号を記入の上、お近くの公民館に郵送、メール、持参でお寄せください。

おたのしみ川柳

今月のお題「生」

詩織 忠治 ひばり

中央図書館・田無公民館は、4月1日から1年間の予定で休館します

中央図書館・田無公民館は築45年が経過し、耐震性の不足及び施設の劣化が見られるため、令和3年度に耐震補強等改修工事を行います。工事期間中は休館となります。

休館期間

令和3年4月1日から令和4年3月31日(予定)まで

休館中の連絡先

休館中、田無公民館事務室は柳沢公民館に移転します。

田無公民館に関する問い合わせは、柳沢公民館へお願いします。

公民館運営審議会

傍聴をご希望の方は、事前に申し込んでください。

時 4月28日(水)18時半~

場 柳沢公民館

内 事業計画・報告について

申 電話で柳沢公民館へ



「サークルから」に掲載するには

「サークルから」は、市内の市民団体・サークルの活動を紹介するコーナーです。団体・サークル主催の催し物のPRや会員募集にご利用ください。

1 掲載できる団体・サークル

・公民館登録団体
・公民館登録団体同様の要件を満たす団体

2 掲載回数

・「催し物案内」「会員募集」それぞれ、令和3年4月1日号から令和4年3月1日号までの間に1団体・サークル、1回、掲載できます。

3 原稿締め切り

・掲載希望号の前々月の20日です。この日が土・日曜日、祝日、休館日(第4月曜日)にあたる場合は直前の平日となります。
・所定の原稿用紙が公民館にあります。

4 その他

・1日発行の市報との同時掲載はできません。
・紙面の都合等により、ご希望の号に掲載できない場合もありますので、ご了承ください。

谷戸まつり実行委員会からのお知らせ

谷戸まつりは、今年もコロナ感染状況を鑑み、実施を見送ることになりました。しかしながら、何らかの形で谷戸まつりが、30年以上培ってきたものを地域に役立てていけないかと考え、今年は、「谷戸まつり実行委員会プレゼンツ『交流会』」によるサークル活動紹介掲示を、下記のとおりロビーで行うこととなりました。

【活動紹介の掲示】

時 4月25日(日)10時~5月7日(金) ※休館日を除く

場 谷戸公民館

内 交流会参加団体や公民館利用団体の活動紹介の掲示



第38回 芝久保公民館まつり準備会

コロナ禍の今、どんな形での実施なら可能なのかなど、みんなで話し合いましょう。

時 4月17日(土)10時~12時

場 芝久保公民館

対 公民館や地域で活動するサークル・個人

申 4月2日(金)

9時から電話で芝久保公民館へ



第10期公民館運営審議会活動報告

第10期公運審会長 小野修平

公民館運営審議会(略称:公運審)とは、公民館長の諮問に応じて、公民館が企画・実施する事業に対して審議をしたり、述べたりする機関です。任期は2年間で、現在は第10期のメンバーが活動しています。公民館利用者や公募の市民、民生児童委員や育成会等の活動をしている方、学識経験者や学校長の計14名で構成されています。

毎月1回、定例会を実施していますが、今年度は新型コロナウイルスの影響で4月・5月定例会を中止し、それ以降も感染症対策を講じながら、短時間での審議を心掛けています。

一方で、平成31年4月に第9期公運審で答申した「西東京市公民館事業評価の位置付けと事業計画の関係について」に基づき、公民館では令和3~5年度の中期的な事業計画の策定を進めました。この計画は、中長期的な視点で実施すべき事業や取り組みが薄い分野・対象を明確にしていくための考え方と内容を示すもので、公民

館事業計画検討懇談会における5回の会議を中心に、定例会でもさまざまな意見を述べてきました。

夏から秋にかけては、令和元年度の事業評価を実施しました。さまざまな地域課題を取り上げ、協働の視点やプロセスを重視した講座運営など、社会教育施設である公民館の役割を果たした事業が多くあったことを評価した一方で、6館全体の事業運営には課題がありました。これは中期計画の策定により大きな改善がなされ、さらなる公民館事業の発展につながるだろうと信じています。

先月には緊急事態宣言で延期となっていた公運審委員研修を実施し、5月からの第11期公運審委員へのバトンとして、公民館のことや公運審委員の役割などをまとめたハンドブックも作成しています。今後も公運審は市民一人ひとりの暮らしや人生が豊かになり、住みやすいまちづくりにつながる主体的な学習を充実させるために活動してまいります。

4月に咲く花: 市内でも見かける身近な花を紹介します。

サトザクラ(里桜)



桜の開花時期は、地球温暖化で、1960年代の3月末日頃から最近では約半月早まり、靖国神社のソメイヨシノ(標本木)は昨年、今年と観測史上最も早い3月14日に開花しました。この便りが届く頃に

は花吹雪でしょう。桜の種類はヤマザクラなど10種の野生種があり、そこから100種の自生種、更に600種以上の園芸品種が生まれています。この野生種以外の桜は植物分類上一括してサトザクラと呼びます。

雄しべが花弁に変化した遅咲きの八重咲きの桜が多く、海外で人気のある濃赤色で大輪のカンザン、オオシマザクラ系の淡い黄緑色のウコン(写真。田無駅北口ロータリー内)など珍種もあり、4月中も十分楽しめます。

文・写真 大森拓郎(新町在住)